



第2回 災害時の連携を考える全国フォーラム

日時 2017年 5月26日(金)・27日(土)

場所 国際ファッションセンター
KFCホール(東京都墨田区横網一丁目6番1号)

参加費 2日参加 10,000円・1日のみ参加 7,000円
(交流会費別途 5,000円)

定員 300人

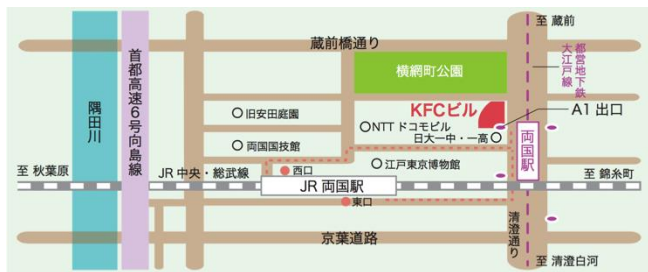
主催 JVOAD 特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

共催 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

多様な
担い手が
集う場



会場案内



【会場】 国際ファッションセンター3階KFCホール
(東京都墨田区横網1丁目6番1号)

【鉄道】 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口に直結
JR中央線・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分
JR中央線・総武線「両国駅」西口より徒歩約7分

プログラム

2016年、地震や水害などにより、多くの被害がもたらされた。一方で、被災者支援に関係する団体も災害のたびに広がりを見せ、「備え」に関する動きも各方面ではじめられている。こうした“防災・減災”の動きは、行政はもとより、企業、大学、職能団体、NPO等の支援団体などによって進められているが、お互いを理解する機会が限られている。災害時に、様々な支援者の力が最大限に発揮され、被災した地域の実情にあった活動が行われるためには、官と民、民と民の「連携」が不可欠である。この全国フォーラムが災害時の支援関係者“すべて”が集う場として、災害時の連携の一助になる事を願って開催する。

26 金	13:00 ~ 15:00	オープニング 趣旨説明／挨拶 オープニングパネル「阪神淡路大震災から今日までの災害対応の変遷を振り返る」					協賛ブース
	15:30 ~ 17:30	分科会 1 避難所・避難生活における支援	分科会 2 都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方	分科会 3 東日本大震災の現状と課題	分科会 4 現場で活かせる世界の共通ルール～進化する支援の国際基準～	分科会 5 企業等による被災者支援	
	18:00 ~ 20:00	交流会					
27 土	9:00 ~ 10:30	全体セッション1 「熊本地震から考える、支援のコーディネーション」					協賛ブース
	10:50 ~ 12:50	分科会 6 多様な支援者がつながるために(医療、福祉、法律、技術系、組合など)	分科会 7 都道府県域における訓練について	分科会 8 災害時における支援に必要な情報の集約	分科会 9 災害対応における助成のあり方	分科会 10 官民連携の進捗状況について	
	13:40 ~ 15:40	全体セッション2／クロージング 分科会からの報告と次への備えを考えるリレートーク 閉会挨拶					

参加よびかけ先

※分科会のタイトル・内容は、今後変更になる可能性があります

災害時、被災者支援に関係する団体・機関

- ・行政(国・地方自治体)・企業・NPO/NGO・市民活動団体・社会福祉協議会・大学・研究機関・国際機関
- ・職能団体(福祉、医療、法律分野等の関係者)・労働組合・協同組合・青年会議所・中間支援組織・助成団体などのみなさま

お問い合わせ先

特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル267-B
TEL:080-5961-9213 / E-mail:forum@jvoad.jp

※参加申し込み、およびプログラムの詳細については、3月下旬にJVOADのHPなどにてお知らせします。

JVOAD構成団体(五十音順)

宗教法人カトリック中央協議会カリタスジャパン／一般社団法人クロスオーバーラボ／特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム(JPF)／一般社団法人情報支援レスキュー隊／震災がつなぐ全国ネットワーク
社会福祉法人全国社会福祉協議会／チーム中越／社会福祉法人中央共同募金会／東京災害ボランティアネットワーク
特定非営利活動法人難民支援協会／特定非営利活動法人難民を助ける会／特定非営利活動法人日本 NPO センター／日本生活協同組合連合会
公益社団法人日本青年会議所／日本赤十字社／公益財団法人日本YMCA同盟／一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター
東日本大震災支援全国ネットワーク／特定非営利活動法人レスキューストックヤード